

本町の復興を願って

「フェアリーフラワー」が義援金を贈呈

7月28日（金）町役場町長室で、「フェアリーフラワー」の皆さんが本町に震災に係る義援金を贈呈されました。

同グループは東京を拠点として活動するクラシック音楽ユニットで、熊本地震の復興支援活動などで活躍。本町の応急仮設住宅での復興コンサートや、7月の第66回あゆまつりのステージイベントに出演するなど、本町の復興を支援されています。

本町に本籍地を置く赤星鮎美さん（写真右）もメンバーとして活動されています。



▲奥名町長に義援金を贈呈するフェアリーフラワーの皆さん

地域で中学生の学力向上を

甲佐中学校で「甲佐町未来塾」が開塾



▲地域の中学生の学力の向上と地域の教育力の向上を目指して、甲佐中学校で開塾された「甲佐町未来塾」の授業の様子



◀小刀やなたを使って製作に取り組み子どもたち

自然に触れて心豊かに

野外キャンプ「あつまれ子どもたち」

8月17日（木）～18日（金）上揚の宮内集会所で、「あつまれ子どもたち」が開催されました。同イベントは、野外体験を通して自然に親しむとともに、共同生活を取り組むことで団体行動の大切を考えることを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。町内の小学生18人が参加しました。子どもたちは1泊2日の体験学習で、講師の指導の下、小刀などを使って弓矢作りや水鉄砲作りを取り組んだりして、豊かな自然の中で活発に活動しました。

▼1歳児教室で赤ちゃんに触れ合い、保護者と交流する甲佐中生徒たち



やおむつ交換などを実習。同日に開催されていた1歳児教室に合流して、乳幼児と触れ合いつつ、身体計測などを手伝ったり、保護者に育児に関する質問をしたりしました。体験交流の後、生徒たちは自分の母子手帳を振り返りながら、出産までの成長などについてDVDを観賞して学習。最後に、保護者へ感謝のメッセージを認めました。

健康増進で地域活性化を

中早川区がコミュニティ助成事業を活用

中早川区（谷頭実区長71世帯）が「コミュニティ助成事業」を活用して、同区公民館の備品を整備しました。

同助成事業は、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図ることが目的。同区では公民館のエアコンなどを整備することで、老人会が取り組む健康づくりなどの交流を通して地域の活性化を目指しています。

整備経費は（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業の受託事業収入を財源として実施する同助成事業で賄われました。



▲備品が整備された公民館で健康づくりに励む区民

子育ての楽しさを学習

甲佐中生徒が「ハロ-BABY！」で体験

8月4日（金）町総合保健福祉センターで、「ハロ-BABY！」が開催されました。同イベントは、思春期の中学生に赤ちゃんとの触れ合いを通して親子の愛情や子育ての楽しさや苦労、命の尊さなどを体験とともに考えてもらうことを目的に、同センターが主催。甲佐中学校（井上幸三校長229人）の生徒25人が参加し、赤ちゃんに関する学習と1歳児教室での触れ合い体験などを行いました。赤ちゃんに関する学習では、同センターの保健師の指導で、赤ちゃん人形を使って抱っこ



◀網を手に井手に入り魚とりを楽しむ子どもたち

川での魚とりに挑戦

8月1日（火）乙女小「まつやま塾」

8月1日（火）、乙女小「まつやま塾」が魚とり体験を開催しました。同塾は、放課後に地域住民の参加協力を得て体験学習などに取り組み、地域社会で子どもたちを大きく育てることを目的に、町教育委員会が主催。主に毎週水・金曜日に、同小で活動しています。魚とり体験は、麻生原運動公園近くの井手で実施。網やざるを手にした子どもたちは勢いよく川へ入り、水しぶきを上げながら魚の影を追いました。取った魚はバケツやビニールに入れて大きさを競うなど、自然体験を楽しみました。